

【館林市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

本市では、館林市第6次総合計画において「自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる」ことを、学校教育における目指す姿としている。

また、館林市教育大綱や教育行政方針において、ICTを活用した授業改善や教職員の資質向上に努めるとしている。

ICT機器を有効活用することにより「確かな学力と豊かな心を育む教育の推進」を実現することが、本市の目指す学びの姿である。

2. GIGA第1期の総括

国のGIGAスクール構想を受け、本市では、令和2年度末までに1人1台端末の整備を完了するとともに、高速通信ネットワークや無線LAN環境の整備を行い、ICTを基盤とした新たな学びの確立を進めてきた。

また、学校間、教員間でICTの活用状況に差が生じないように、令和3年度から令和6年度にかけて市内小学校1校及び中学校1校が「ICT活用促進プロジェクト」のモデル校の指定を受け、公開授業や実践発表を行い、1人1台端末を活用した授業を推進してきた。

この取り組みによりICT活用が推進された一方で、ICTを活用すること自体が目的となる授業も見られたことから、学びの基盤としてのICTの有効活用の在り方を研究していく必要がある。

3. 1人1台端末の利活用方策

スタディログ等のデータ活用による生徒の興味・関心や習熟度に応じた個別最適な学びや、デジタルツールによる共同制作やリアルタイムでの意見共有を通じた協働的な学びを推進することで、1人1台端末を活用したより深い学びを実践していく。

また、端末の家庭への持ち帰りを実施し、家庭学習や保護者との連携を強化するほか、校外学習や地域活動においても端末を活用し、実地での情報収集や発表に役立てる。

ICT活用は学びの質や学びの転換（学び方や教師の指導・支援）に大きな影響を与えるため、端末を使うこと自体が目的化しないよう、学びを深めるための手段として位置づけ、ICT使う目的を常に明確にする。